

図書室だより

町民センター3階



【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30 土・日曜日・祝日(22・23日) 10:00～17:00
 【休室日】毎週月曜日、9/12(土)は開成阿波おどり開催に伴い休室します。
 ※貸し出し冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの1冊

図書館で出会える100冊

著者は面白い本との出会いについて「読んでみなくては、本当に面白いかどうか分からない」といっています。「いろいろ読んで、そのたびに当たりだったり、外れだったりという経験を重ねて、自分はどんな本を面白いと思うのかわかってくるのです。」

田中共子 著



図書館には、古い本から新刊まで、いろいろな本があります。あなたの読みたい1冊を見つけませんか。

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内容 「ばたばたペンギン」を作ります
 持ち物 はさみ、サインペン
 日時 9月18日(金)15:00～
 場所 町民センター2階 小会議室A
 申し込みは直接図書室へ または ☎82-5221

◇おはなし会(第3水曜日、第3土曜日)

今月12日(第2土曜日)は開成阿波おどり開催に伴い19日(土)に変更になります。
 日時 9月16日(水)15:00～
 9月19日(土)10:30～
 場所 町民センター3階図書室
 申し込みはいりません。

新しく購入した図書(主なもの)

- ★ 一般書 ★
- 「薄暮」 篠田節子
 - 「道絶えずば、また」 松井今朝子
 - 「ジパング島発見記」 山本兼一
 - 「知られぬ日本の面影」 ラフカディオ・ハーン
 - 「ドーン」 平野啓一郎
 - 「植物図鑑」 有川 浩
 - 「海商」 柳蒼二郎
- ★ 児童書 ★
- 「おばけなんてないさ」 せなけいこ
 - 「ホテルがすきになった日」 国松俊英
 - 「日曜日島のパパ」 ペッテル・リードベックデール
 - 「本所のななふしぎ」 山本 孝
 - 「とびらをあければ魔法の時間」 朽木 祥

我が家のペット紹介

No.61

子ビ(20歳)です。人間でいえばもう100歳のおばあちゃんです。家族の会話はほとんど理解しているよ。



北村 進さん宅(上延沢)

ペットのふんは飼い主さんが責任を持って持ち帰しましょう!

ご自宅のペットを紹介しませんか? 募集中です。詳しくは企画政策課まで。 ☎ 84-0312

開成町俳句協会

黄昏れて光を増すや走馬灯
 小走りに犬に引かれる夏帽子
 兄二人逝きて八十路や沙羅の花
 一斉に向日葵の目に見つめられ

濱本 主雄
 波多野 すみ枝
 高野 宗脩
 遠藤 まつ子

芝田 みち子 選

俳句

凡々と生きた母あり走馬灯
 下沢 操子

走馬灯が題であった。影絵が回る様にいくると思い出が重なって廻る。平凡な昭和を生きた母の残像を思いかえしている。

ともしび短歌会

夏の陽を背なうけつつ友の家
 訪ひて語れり時を忘れて
 芳山 エミ子

夏の強い日差しの中、徒歩の遠い道のりでも、自分と同じ一人暮らしの友人を訪ねてはいろいろな思い出を語り合う日々を楽しみを歌に詠みました。

短歌

夕ぐれて茜にそまる家々が
 早苗田にうつり影ながく引く
 杉本 シズ子

愛読書の一冊に「祇園精舎の鐘の声」で始まる平家物語がある。昔は盲人の琵琶法師が曲節を付けて語ったと云ふ。滅びの美学とはかくも美しく美しいものか、歳重ねる毎にしみじみよみ返す珠玉の各章である。

*文芸



ぶらりと歩きながら開成町の文化を発見、再確認してみませんか。開成町に残る遺蹟を紹介します。



開成町と関東大震災

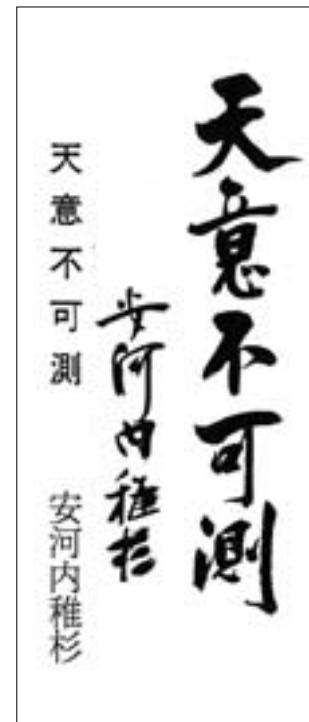
9月1日は防災の日です。86年前の大正12年のこの日、酒匂川河口と伊豆大島をむすぶ海底で、マグニチュード7.9の地震がおき、関東地方が大被害をうけたので、関東大震災と名づけられました。開成町は、たびかさなる酒匂川の大水で、砂や小石がまざった土地のため、ほかよりは少ない被害で済みました。それでも表のように、全体で約四割の住宅が被害に会い、高木製糸場(いまの文命中学校の場所)では、5名が建物の下じきとなり圧死しました。当時の安河内稚杉(神奈川県知事は「天意不可測」(自然のなりゆきはだれにもわからないので、ふだんから気をつけよう)と県民に呼びかけました。

現在、JR御殿場線ぞいに、松田〜国府津断層という地面のずれが確認されています。地震はずれている所からふきだしてくるため、大きな被害をうけやすいといわれています。いつでもそうですが、特に9月は、地震や台風におそわれた時のそなえを見なおす月です。(文責 開成町文化財保護委員会)

※お子さんも読めるようにふり仮名を付けています。

開成町(酒田村・吉田島村)の被害		住	宅	土	蔵	物	置	死	者	役	場
酒田村	319	全壊	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	五	三	被害少
吉田島村	239	一	一六	五二	六二	四	四二	二	五〇	九	異常なし
			二二	三三	四六	二	二二	三	五〇	九	異常なし

〔大正震災志〕(内務省発行)より作成



駐在所 だより

免許更新時の認知機能検査が導入されました

6月1日から、75歳以上の高齢運転者は、免許更新時または失効後の再取得手続きの際に、認知機能検査(講習予備検査)が義務付けられました。12月1日に免許証の有効期限が満了する方(11月1日の誕生日の方)から、更新満了の6か月前から更新申請日まで認知機能検査を行うこととなります。認知機能検査は、公安委員会から委託を受けた指定自動車教習所が行い、受験者の認知機能の低下の程度を検査するものです。

結果は、「記憶力・判断力が低くなっている」「少し低くなっている」「心配がない」の三つのいずれかに判定されます。

「記憶力・判断力が低くなっている」と判定されても、免許は更新され、すぐに取り消されることはありません。ただし、「記憶力・判断力が低くなっている」と判定された人が信号無視などの交通違反を犯した場合、専門医を受診し、認知症と診断されると免許を取り消されます。

神奈川警察運転免許本部
 免許課
 ☎ 045-365-3111

松田警察署
 延沢駐在所 ☎83-5434
 吉田島駐在所 ☎83-5457

